



2021年10月1日発行

2021年10月号 (通算253号)

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京コミュニティーセンター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102
TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

【2021～2022主題】

国際会長	キム・サンチェ	「Y's Men with the World」
アジア太平洋地域会長	大野 勉	「Make a difference beyond the 100th」
東日本区理事	大久保 知宏	「私たちは次の世代のために何ができるか？」
あずさ部長	長谷川 あや子	「道を拓く～愛と協力によって」
東京武蔵野多摩会長	渡辺 大輔	「原点に立ち返って何ができるか考えよう」

【クラブ役員】

会長	渡辺 大輔
副会長	小林 文彦
書記	山口 直樹
会計	宮内 友弥

I B C Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)、Seoul Han Yang Club (韓国)

D B C 神戸学園都市ワイズメンズクラブ

2021年
10月の聖句

わたしの教えは雨のように降り注ぎ

わたしの言葉は露のように滴る

申命記第32章2節

ワイズメンズクラブモットー 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

ワイズの信条

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにY M C Aに尽くそう
1. 世界的視野をもって国際親善を図ろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
1. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてY M C Aの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

10月例会の予定

強調月間：

日時：10月13日（水）

19:00～20:30

会場：ZOOMにて開催

司会：板村

〈プログラム：懇親例会〉

- * 開会挨拶、点鐘、ワイズソング
- * ゲスト、ビジター、メンバー紹介
- * 卓話 江夏さん「教会でのコロナ対応など」
- * 連絡、報告、にこにこ
- * 閉会挨拶、点鐘：渡辺会長

* 10月のハッピー・バースデー

江夏さん（16日）、伊佐さん（21日）、野尻さん（27日）

9月例会報告

在籍者	10名
出席者	8名
メーキャップ	1名
出席率	90%
ゲスト（リーダー）	4名
ビジター	5名
メネット・コメント	0名
にこにこ	0円

「思考」

宮内 友弥

9月19日朝2週間ぶりに教会での礼拝に出席した。

我々の教会では、毎日曜日の礼拝はハイブリット方式でYouTubeを通じて生配信されており、自宅で誰もが教会のホームページから入って、気軽に礼拝に参加することが可能である。

教会員は、三密を避けるため教会に行きたくて礼拝に参加するのは1週間おき（隔週）と決められている。

と言うことで、2週間ぶりの教会であったが、礼拝の最後に牧師が嬉しそうな顔をされ、初めて教会に来られた2人の方を紹介された。お一人はチラシを見て、もう一方はホームページを見てとのこと。こうして初めて教会に来られた方の中で毎年10名内外の方が教会員になられている。これは根気よくチラシを配り、ホームページを充実させると言う地道な努力の結果であろう。

こんなことを考えながら当日夜に開催された第1回ワイズ・ナイトフォーラムにワイズ以外のどんな方が参加されるのか期待しながら出席した。ワイズ以外の参加者は11名とのこと。11名の方には興味深い卓話、パネルディスカッションを通じてワイズの良さは十分伝わったと思われるが、その後のフリーディスカッションで発言が少なかつたこともあり、実際に参加してみてもの反応、特にワイズに対してどの位親近感を持たれたかを聞いてみたかったと感じた。矢張り仲間になっていただくためには、親近感を持って貰うことが大事なことと思う。

第2回目以降も引き続き多くの参加者に恵まれ会員増強に繋がることを期待したい。

<9月例会報告>

2021年9月8日 19:00~21:00 (Zoomにて)

出席者 ビジター ; 田辺(神戸学園都市)、山下(十勝)、長谷川(八王子)、山本(八王子)、久保田(八王子)
加藤さんご友人 ; 山口さん、佐久間さん、平山さん
クラブ出席者 ; 渡辺、伊佐、板村、小林、中村、宮内、出沼、山口

『もしもし、いのちの電話です』

9月例会は、愛知いのちの電話協会事務局長の加藤明宏さんをスピーカーに迎えて行った。

加藤さんは元名古屋YMCA総主事。学生時代に東京目黒YMCAでリーダーをされており、その時の仲間の方もビジターとして3名参加された。その他、神戸学園都市から田辺会長、十勝の山下さん、八王子から山本会長、久保田さんと長谷川部長も参加されにぎやかな例会となった。参加者には、「いのちの電話」の名前を聞いたことはあるが詳しくはよく知らない方が多いとのこと、活動内容などを知る良いチャンスとなった。

「いのちの電話」は1953年ロンドンで始まり、日本では1971年に東京で始まった。今は全国で52のセンターで活動がおこなわれている。基本理念は、①24時間相談活動 ②無償の市民ボランティア ③相談員は研修を受け自己研鑽も続ける ④匿名性、秘密の堅持 ⑤利用者・相談者とも宗教・思想・信条の尊重 ⑥必要に応じて他の社会資源を活用。人と人との関係の中での相談ということ大切にしている。

コロナ禍において、減少傾向が続いていた自殺者が2020年は増加した。特に女性と若年層が増加した。また、話を聞いてほしいとの電話も多いとのこと。また、中心である相談員の減少も懸案であるが、今年は希望者が増加している。ニュースで取り上げられたり、外へアピールする努力をされたことも効果があったかもしれないとのこと。

最後にワイズの皆さんにはぜひゲートキーパーになってほしいとのこと。そのポイントは、①変化に気づくこと ②声掛けをすること ③傾聴 ④つなぐこと ⑤見守ることであり、周りにいる一人一人を大切にすることである。

話のはじめにNHKニュースで取り上げられた場面、最後に名古屋いのちの電話作成の案内を見て、お話は終わった。前身の多摩クラブが「東京多摩いのちの電話」に関わっていたことも改めて思い出すこともできた時間であった。なお、加藤さんは名古屋クラブに最近再入会されたとのこと。

(山口直樹)

9月例会の様子



<東京YMCA便り>

▼長年支援を続けているバングラデシュYMCAが運営するNFPE（働く子どもたちの学校）はコロナ禍の影響により2020年3月から休校している。東京YMCAはバングラデシュYMCAから要請を受け、子どもたちの学習とその家族の生活支援のため募金活動を開始。集まったお金で、現地の教師が各家庭を訪問し家庭学習をサポートしたり生活が困難な家庭には食料品やマスクなどの物資を届けたりする予定。

また、一昨年から交流が始まったミャンマーのネピドーYMCAでは「YMCA農村診療所」の活動の延長として、コロナ患者を病院に搬送する救急車プログラムの他、失業者に食料品を配給する活動を始めたことを受け国際協力募金からの支援を検討している。国際協力募金にご協力よろしくお願いたします

▼今後の予定

・東京YMCAA 高等学院を支えるためのチャリティーコンサート

日にち：10月15日

会場：日本基督教団霊南坂教会

出演：飯靖子（オルガン）・飯舘（ヴィオラ）・高等学院生徒有志

・第35回インターナショナル・チャリティーラン

コロナ禍のためスマートフォンアプリを使ったウォーキングイベントとして開催。

個人参加：10月16日~22日/チーム参加：10月23日~31日

(出沼一弥)

クラブファンド(メルカリ)



- ✓ メンバーの不要な本をメルカリに出品
- ↓
- ✓ 本の売り上げをクラブファンド化

手順(案)

- ① クラブの共通アドレスでメルカリに登録
- ↓
- ② まずは各自5冊を出品
- ↓
- ③ 本が売れた場合は、各自が自宅から発送

出品&発送作業ができないメンバーについては、中村と渡辺が作業を代行
(例会等の際に西東京センターに届けてもらい、中村と渡辺が持ち帰る)

試験運用の成績発表！

(2021年9月22日現在)

- 8月 6冊販売済み → 利益 1,155円
- 9月 8冊販売済み → 利益 1,677円 (通算利益 2,832円)

現在、中村:22冊、渡辺:6冊出品中！

今後のクラブ行事予定

10月13日(水) 19:00-20:30 10月例会
(卓話:江夏さん「教会でのコロナ対応など」)

10月16日(土) 13:30-15:30 あずさ部部大会 Zoom開催

10月27日(水) 第2例会(事務会) 19:00- ハイブリッド開催
<西東京センターに来る方は18:45以降集合でお願いします>
<メルカリの出品物がある方は当日、西東京センターまでお持ちよりください>

11月10日(水) 19:00-20:30 11月例会(卓話:出沼さん)

10月の第二例会については、西東京センターとZOOMでのハイブリッド開催を試しに実施します。